事業所における児童発達支援自己評価結果（公表）

討議年月日：令和6年　1月　31日

公表：令和6年　2月　29日

事業所名　チャイルドハート小郡

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			
	2	職員の配置数は適切である	6	1	月末・月初に配置の確認を行っております。	4月から職員の配置を増やす予定となっております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	1	スケジュールをイラスト付きで掲示し、一日の流れを分かりやすくしています。	危険個所は適宜見直しを行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		毎日清掃している、空気清浄機加湿器を設置しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		毎週ミーティングで話し合っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		ホームページにて公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6			今のところ外部評価が必要となった事例はありませんでした。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		年間の研修スケジュールを立て、研修の機会を取っています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		半年に一度モニタリングの際に保護者面談を行い、児童発達支援計画書を作成しています。月に一度のアセスメントも行っています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		利用者全員にアセスメント表を用いて記録を残しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7		ガイドラインに沿って計画書を作成し、その計画書を元に支援内容を検討して支援にあたっています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7		毎日計画書をもとに支援を行っております。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		支援会議にて話し合い、プログラムを決めています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		毎日違ったプログラムを一月分事前に作成し、支援しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7		個別活動と集団活動をプログラムに組み込んでいます。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎朝、朝礼の際に報告、打ち合わせをしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		前日の支援の振り返りを朝礼でノートに取り、全員が把握できるように共有し徹底しています。	

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		記録は必ず残しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7		半年に一度モニタリングを行い、アセスメントや保護者面談、支援会議をもとに計画書の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7		適宜関係機関と連携を取っています。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7			
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		適宜情報共有を行い、必要時な際は担当者会議を行っております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		今後検討して計画していきたいと思います。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	6	出席可能な会は参加させて頂いております。	協議会の開催時間が午後19時からであるため参加が難しい時もありますが、可能なかぎり参加させて頂きたいと考えています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）の支援を行っている	6	1		職員のスキルを向上し、ペアレントトレーニング等の支援を行って行きます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に全文読み上げながらご説明を行っております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7		半年に一度保護者面談を行い、保護者からの情報も取り入れ計画書を作成し、同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		常に児童、保護者からの相談に応じ、行政などの専門機関とも連携を図っています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		毎月通信を発行し、活動内容や次月の予定を発信しています。	

	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6		今後検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		定期的に避難訓練を行い、記録を残してファイリングしています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			現在該当するような事例はありませんが、必要に応じて適切に対応してまいります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		作成したものは全員で共有できています。ミーティング時に情報共有を行っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7			

〇この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和6年　1月　31日

公表：令和6年　2月　29日　　事業所名　チャイルドハート小郡

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1		
	2	職員の配置数は適切である	6	1	月末・月初に配置の確認を行っております。	4月から職員の配置を増やす予定となっております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3		危険な箇所は適宜見直しを行っていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		朝礼時やミーティングにて話合いを行っています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		ホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7			今のところ外部評価が必要となった事例はありませんでした。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		年間研修計画を立て、研修に参加してもらっています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		半年に一度モニタリングの際に保護者面談を行い、計画書を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		利用者全員にアセスメント表を用いて記録を残しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7		支援会議を行い、プログラムを決めています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		毎日違ったプログラムを一月分事前に作成し支援しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		長期休暇の際には前日までに一日の流れを決めています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7		個別活動と集団活動をプログラムに組み込んでいます。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎日朝礼で確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		前日の支援の振り返りを朝礼でノートに取り全員が把握出来るよう徹底しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		記録は必ず残しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		半年に一度モニタリングを行い、アセスメントや保護者面談、支援会議をもとに計画書の見直しを行っています。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7		ガイドラインの基本活動に沿って自立支援と日常生活の充実のための支援を行っています。	他の社会福祉事業やボランティアの受け入れ等により積極的に地域との交流を図っていきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		適宜関係機関との連携を取っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	7			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		担当者会議に参加し情報提供を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		情報共有を行い、必要な際は担当者会議を行っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		今後検討していきたいと思っております。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	2	出来る限り参加しています。	協議会の開催時間は午後19時からであるため参加が難しい時もありますが、可能な限り参加したいと考えています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	5	1		職員のスキルを向上し、ペアレントトレーニング等の支援を行っていきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時に全文を読み上げながらご説明しております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		保護者からの相談に応じ、必要ならば行政などの専門機関と連携を取っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		開催時期の検討を行います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		適宜丁寧に対応しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		毎月、通信を作成し活動内容や次月の予定を作成しています。	
	35	個人情報に十分注意している	7			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		今後検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		児童と共に避難訓練を年3回行い、記録に残しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4			現在該当するような事例はありませんが、必要に応じて適切に対応してまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		作成したものは全員で共有できています。ミーティング時に情報共有を行っています。	